

2月5日 東京会場にて開催！

主催：公益社団法人 日本鍼灸師会

第2回 災害支援鍼灸師養成講座

災害時、鍼灸師による支援活動の必須項目を研修いたします

現在、南海トラフ地震・関東直下型地震等、来る大災害に備えての体制作りが提唱されおり、日本鍼灸師会でも一昨年より災害支援活動への取り組みを強化し、今年度は鍼灸師による災害支援活動において最低限押さえておくべき研修として、「災害支援鍼灸師」(※1)の養成講座を開催させていただく事となりました。

是非この研修にご参加いただき、地域社会における災害対策の情報発信を担っていただくと共に、各都道府県師会における災害支援活動のリーダー的な存在となっていただければ幸いです。

1. 開催日時 平成29年2月5日(日) 9:30~17:00(受付開始は9時から)

2. 会場 日本鍼灸師会会館

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-44-14

JR 大塚駅 改札より 徒歩 5 分

東京メトロ 丸ノ内線 新大塚駅 徒歩7分

3. 募集定員 30名

4. 受講資格 はり師、きゅう師(原則として、実務経験5年以上の者)

5. 講習内容

①9:30~11:00;被災者や被害者をささえるために一サイコロジカルファーストエイドを学ぶ
及び被害者や被災者の中長期の回復を支えるこころのケア

講師:兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子先生

②11:15~12:45;災害医療対策の歴史と多職種連携の必要性

講師: 国立病院機構災害医療センター 福島復興支援室

小早川 義貴(こはやがわ よしたか)先生

③13:30~15:00;災害支援鍼灸師に必要なリスク管理とマネジメント

講師:帝京平成大学 ヒューマンケア学部 鍼灸学科 今井 賢治先生

④15:15~16:45;コーディネートの実際について(熊本地震を例に)

講師:日本鍼灸師会 矢津田 善仁・堀口 正剛

6. 受講証明書の発行

本研修の受講者には、(公社)日本鍼灸師会から受講証明書を発行いたします。
また、日本鍼灸師会会員は都道府県師会における「災害支援鍼灸師」の登録要件となります。(※2ご参照)

7. 受講料 日本鍼灸師会会員 13,000円 ・ 一般 16,000円

8. お申込み 締め切りは平成29年1月19日(木)です。

①下の申込書に必要事項を記入して、日鍼会事務局までFAXまたは郵送して下さい。

FAX 03-3985-6622

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-44-14 (公社)日本鍼灸師会 事務局 宛

②申込書受領の連絡をいたします。

9. その他 昼食時間は45分です。会場内での飲食は可能です。近くにコンビニ・飲食店があり大塚駅近辺にも飲食施設は多数ございます。

10. お問い合わせ

(公社)日本鍼灸師会 事務局までFAX(03-3985-6622)でお願いいたします。

又は gaia7889@gmail.com 090-8377-6343 堀口 正剛まで

※1:「災害支援鍼灸師」とは、都道府県鍼灸師会に登録されている鍼灸師であり、はり師・きゅう師の職能団体の一員として、被災した鍼灸師の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療やケアを提供する役割を担う鍼灸師のことをいう。

※2:災害支援鍼灸師に登録するための要件は、以下のとおりとする。

ただし、都道府県鍼灸師会長が特別の事情があると認めた場合には、以下の要件にかかわらず登録を認めることができる。

- ①都道府県鍼灸師会の会員であること。
- ②実務経験年数が5年以上であること。
- ③所属施設がある場合には、登録に関する所属長の承諾があること。
- ④災害支援鍼灸師養成のための研修等を受講していること。

第2回災害支援鍼灸師養成講座(東京)受講申込書

私は、公益社団法人日本鍼灸師会主催の災害支援鍼灸師養成講座を受講いたします。

1. 所属師会(あるいは所属団体)
2. 受講資格
3. 氏名(フリガナ)
4. 生年月日
5. 住所 〒

6. TEL
7. FAX
8. 携帯電話番号
9. Eメール (大きくはっきり記入して下さい。今後の災害支援に関する連絡をいたします)

@

連絡・登録及び資料の送付は上記に記入されたところへ送らせていただきます。

送信先 FAX:03-3985-6622

締め切りは1月19日(木)です

■ 公益社団法人 日本鍼灸師会 <会館案内図>

